

小松節子の ハートフル メッセージ



インドを訪問して

広島商工会議所が主催したインド経済視察訪問団の一員に、昨年結成された広島日印協会の理事を務める私も加わり、4月6日から一週間の日程でインドを訪問しました。

訪問したのは、インドの首都で北部のデリーと、南東部に位置しベンガル湾に面したチェンナイ、北西部にあるグジャラート州です。インドは日本の約9倍の国土面積を持ち、人口も14億人を超えます。場所が変わると、同じ国とは思えないほど、宗教や文化、言語、制度が異なっていました。グジャラート州は飲酒が禁止されていて、お酒を飲みたいときには、資格証が必要でした。

グジャラートでは、スズキモーターやヒロテック、ワイテックの現地工場を見学しました。どの工場でも大変な歓迎を受けました。優秀な人材が多く、教育の質の高さや、問題解決能力を育む多様な社会環境などが、人材を育む要因になっているのかな、と感じました。チェンナイではアンナ大学を訪問。日本の学生と一緒にIT関連の技術開発をしたい思いを聞き、日本が信頼されていることを知ることができました。

私がインドを訪問したのは2008年以来、



インドの女性たちに囲まれて(サングラス姿が筆者)

2回目です。当時と比べると、女性の社会進出が目覚ましく、とても社交的なことに驚きました。一方で、街に散乱するごみの多さなどを見るにつけ、国民が質の高い生活を望んでいることも分かりました。

インドでは、私が帰国した後、隣国のパキスタンとの関係が悪化しています。つらい出来事ですが、国民が一番求めているのは恒久平和です。私が今回の訪問で一番強く感じ取った思いを付記しておきます。(メンテックワールド社長)